

要 点 録

令和元年11月5日作成

会 議 の 名 称	令和元年度第1回 島本町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会		
会 議 の 開 催 日 時	令和元年10月8日（火） 午後3時00分 ～ 午後4時30分		
会 議 の 開 催 場 所	島本町役場3階 委員会室	公開の可否	可
事 務 局 （ 担 当 課 ）	事務局：総合政策部 政策企画課 担当課：都市創造部 にぎわい創造課	傍聴者数	3名
非公開の理由（非公開（会議の一部非公開を含む。）の場合）	—		
出 席 委 員	三村会長、上松委員、葛城委員、加藤委員、棚町委員、長井委員、森野委員		
会 議 の 議 題	案件1 島本町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況等について 案件2 その他		
配 布 資 料	資料1 まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況、今後の事業予定 資料2 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に向けて その他資料 次第、委員名簿		
審 議 等 の 内 容	別紙のとおり		

令和元年度第1回 島本町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 要点録

開会

- 出席委員数の確認
- 新任委員の紹介
- 傍聴の許可

【案件1】島本町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況等について

会長

それでは案件に入ります。

計画の進捗状況について、平成30年度の実績と令和元年度の予定を中心に審議を行います。

進め方としまして、まず計画の基本目標1と2について、審議を行い、基本目標3、4の審議を進めたいと思います。

それでは、基本目標1「新しい人の流れをつくる」基本目標2の「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える」について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局

(基本目標1、2の進捗状況を説明)

委員

サントリー山崎蒸溜所に来られた観光客を島本側に呼び寄せるような取り組みというのはしたほうがいいのではないのでしょうか。

例えば、いくつかの拠点を回る、観光客や町民の方が乗れる周遊バスみたいなものがあるといいのではと思います。

担当課

サントリー山崎蒸溜所から島本町内にどのように周遊していただけるかということが、本町の観光行政の中で非常に大きな課題と認識しております。

令和元年度に、商業団体支援補助金を創設し、西国街道沿いに魅力的な個店ができるよう支援を図っているところです。

委員

高槻市と、連携をしているということですのでけれども、これは今後も継続しそうですねでしょうか。

また、補助金について、2団体が受けていらっしゃるんですが、これからもその予算が確保されるのか、新しい団体がこれから増えていくのでしょうか。

次に、いろんな連絡会とか協議会がありますが、島本おもてなしプロジェクト連絡会とか離宮の水ブランド推進協議会、SMALLというのは、住民の認知度はあるのでしょうか。

あと観光プロモーションということで、どれだけ人が呼べるかちょっとわからない

いですがけれども駅からここまで歩いてくるときに、駅にカメラを持っている人がいらっしやったので、ここに来るとよりきれいに撮れますよ、みたいなPRをすることで、人は来るのかなと思います。

また、所によっては田んぼアートっていうことで、いろんな色の米を植えて、例えば歌舞伎の絵をつくって、そこに親子が来るみたいなことをしている場所もあるので、何か話題になることをして、そこでおまんじゅうでも作って売るということも可能なのかなというふうに感じました。

担当課

高槻市との観光連携についてですが、平成31年の2月に締結しており今後も続いていく協定となっております。

「まるごと高槻」というイベントに町長も出席し、島本町のチラシであるとか、離宮の水ブランドの商品のチラシを、1,000人以上の方にお配りさせていただくことができ、非常に有益なイベントであったと認識しております。

にぎわい創造補助金については、住民公益活動というちょっと大きなくくりで補助ができないかということを検討させていただいております。にぎわいづくりに限定しない、例えば文化財の保護や地域の見守りといった、住民活動全般に出せるような補助体制も検討しているところです。

S M A L Lの認知度ですが、これはシェアリングエコノミーの取組でして、全戸配布させていただいております「広報しまもと」でも特集という形で出させていただいております。これは島本町で初めての民間の取組ということで、大きく広く周知のほうをさせていただいているところです。

離宮の水ブランドに関しましても、認証商品のチラシを全戸配布させていただいております。少しずつではありますが、認知度の向上に努めていきたいと思っております。

鉄道写真の撮影スポットの紹介や田んぼアートなどについては、今後の観光の施策の参考にさせていただきたいと思っております。

委員

にぎわい創出の団体の補助から、先ほど補助金の性質が変わって、市民公益活動という話がありましたが、にぎわいの創出に係る補助金はそのまま残しとかなないといけないと思っております。

新規のイベントの発生を期待したが、そうでもなかったといった課題が残っているままで、対象を広げるのはちょっといかなものかなと思います。

観光連携やにぎわい創出について、連携できるようなシステムは引き続き置いて、市民公益活動っていうのはまた別で実施し、成果が出てきて、一緒に活動できるような形になればいいですが、何か中途半端なままに、現段階ではちょっとしんどいかなっていうような印象を持ちました。

観光連携での部分で、西国街道など、観光スポットがたくさんあるので、街道筋の連携を高槻とどのようにしていくかっていうことを主眼にさせていただいたほう

が、町を回遊するような方策に進むのではないかというふうに思います。

事務局

にぎわい創造補助金と他の補助金の統合については、制度設計等も含めて現在検討中ですので、確定事項ではございません。

御意見については参考とさせていただきたいと思います。

委員

そもそも、創生総合戦略っていうのは、若い人に住んでもらいましょう、子供ふやしましょうねっていうことだったと思います。

ただ、世帯や子どもが増えたとなると、保育事業等が大変になっているわけですよ。そういう意味で、増えたはいいけれども、その後の対応が、本当にこれから大丈夫なのだろうかと思います。

あと、12ページで、開発における子育て支援協力金について、具体的に何に使っているのかを可能な限り教えていただければと思います。

事務局

以前から、待機児童っていうのは発生しておりましたが、現在その対応をとるために、保育基盤整備加速化方針を策定いたしまして、民間の認定子ども園であるとか、複数の小規模保育事業者であるとか、町立保育所の移転建替え等の整備をスピードアップして進めていくという方針であります。また、施設整備とあわせて並行して取り組んでいる保育士確保の取組を推進することで、待機児童の解消を図っているところです。

子育て支援協力金の使い道としては、子育て支援のためということでございます。

会長

それでは基本目標の3「時代に合った地域をつくり、安全安心な暮らしを守る」と基本目標4「安定した雇用とにぎわいを創出する」について、事務局のほうから説明をお願いいたします。

事務局

(基本目標3、4の進捗状況を説明)

委員

17ページで、住民委員会が解散しましたとありますが、解散するっていうことは自治会に移行したと理解をしましたが、平成27年度、平成28年度と100万円ずつ予算があったわけですが、浮いた100万円が、何に使われているのか。解散の結果、自治会が増えたのか。どのくらい加入されているのか。

次に、去年すごく台風があつて、いろんなハードにかかるお金がかかるのはよくわかります。ホームページを拝見すると、町の予算は、1年で115億2900万円となっております。19ページでいうと、結構いろんな対策にお金をかけていますが、これが、低いのかどうかわかりませんが、どのように位置づけてらっしゃるのでしょうか。

あと最後のページで、タウンミーティングやサミットをやって、おそらく課題が出てきたと思いますが、次の一手を打っていらっしゃるのかというのをお願いしま

す。

事務局

17ページの住民委員会の質問がありましたが、まず自治会と住民委員会は別のもので、住民委員会の機能が自治会に移るという関係性にあるものではないということでございます。

自治会の加入率は近年でいうと63.4%、65%前後ぐらいです。自治会は地域自治の基盤ですので、町としては引き続き、結成や運営の支援に力を入れていきたいと思っています。

住民委員会の年間補助していた分を何に使っているかということについては、この100万円を直ちに何か別の予算に充当するというような考え方で予算編成をしているわけではありません。これに代わるコミュニティづくりへの取組が一定必要ではないかということで、支援方策を検討しているところでございます。

委員

住民委員会というのは、自治会から選出された委員が出て、町に提言・提案する組織であって、いろんな意見を住民として考え、取りまとめて、それを町長に住民代表の意見として提出するというような組織で、提案・提言に対して、町がそれを実行するか、それに対応するかというのはまた別の話ですが、住民のまちづくりに関する意見を取りまとめる団体です。

それから、今はまちづくりの協議会みたいものをできないかっていう動きをゆっくりとしているところで、具体的には、今までは提案をする団体でしたが、みんな連携して、住民の何人か集まっているいろんなことやってみようかと。自分も担い手になり、「言う」のではなく、「やる」団体です。

事務局

19ページのインフラ整備、橋梁であるとか、下水、また雨水幹線などの整備については、災害時の対応とかで、非常に重要な役割を果たすために、計画的に、大阪府等とも連携しながら、整備を進めています。

費用が多いかどうかというのは、比較の問題になると思いますが、町としては、公共施設の適切なマネジメントを行っていく必要があると認識しています。

町として、維持補修や長寿命化を計画的に進めているということで、その一部を掲載しているということでございます。

担当課

タウンミーティングや商店街サミットについてですが、タウンミーティングで課題を洗い出し、サミットという形で、商店街関係者、行政、商工会と集まって、実際に動けるところから動き出しております。

具体的には、情報発信が重要ということで、商店街やお店を紹介するようなフリーペーパーを作成しております。また、小さい個店と大きな企業とのコラボレーションといった課題についても、できるところから取組を始めているところです。

商店街関係者の方とは、顔の見える関係になっておりますので、サミットを続けているということに関して、非常に意味のある取組と思っているところです。

委員

とりあえずよそから人が来る、外の空気を入れる人がたくさん入ってくるような

仕組みを町でつくらないと、どれにも連携してこない。

大阪だけ、島本だけっていう発想で考えるのではなくて、キーワードをつなげればいろんな面としての広がりがある。そういう視点から次の戦略を練らないといけない。

例えば府内で唯一名水指定がされているのはここだけで、大阪で1番の水が出ているわけですね。それをもっと前面にアピールするようなことができないか。せっかく撮り鉄の人たちがいるのであれば、皆さんのハッシュタグとかインスタグラムなんかで、口コミをしてもらうような環境づくりさえしてやれば、島本町のここだって撮り鉄の隠れたポイントというのが広がれば、よそから人が集まってくる環境作りができるような気がします。まだ持っている素材は隠れていて、まだ発掘できてないというのが、ここに来るたびにいつも思います。

ちょっと視点を変えるというふうなことを、積極的にしていかないと。予算をつけてもう年度が過ぎではそれで終わっちゃって、次に継続しないというのは非常にもったいない感じがするので、そういう発想からまちづくりのイメージをしていただけたらなと思います。

担当課

素材の掘り起こしであるとか、情報発信の部分が大きな課題とっております。情報発信で、効果的なものがあつたら教えていただければ、ということは常々思っているところです。

委員

同じ丸から、ほんのちょっとだけ角度ができるとか、ほんのちょっとだけ飛び出すっていうのが多分注目される度合いだと思います。

この水でコーヒー作ったらうまいということとか、この水でつくったパンがうまいとか、そういう発信の仕方でやらないと。

3万人の町をよその70億人に知ってもらうためには、多少盛ってでも、本当のことは言わないといけません、うまいこと言えば、いくらでも何かありそうな気がします。

委員

話題を外れますが、14ページ、青色防犯パトロールが、防犯カメラが増えてきたからなくなったということですが、最近犯罪が増えているっていうのがありまして、町全体の防犯パトロールという抑止っていうのがやっぱり非常に、大きいのではないかなと思います。

リタイアされる方に、そういう防犯のほうに携わっていただいて、青パトに乗っていただいてそれも助成をすとかということも、ありかなって思います。

地元では、防犯だけではなくって、いろんな催しの、宣伝コマースも青パトを使って、やっていたりしておりますので、費用をかけて、お年寄りの方に携わってもらう。防犯カメラをつけたから安心ではなくて、そういうのを続けて走っているほうがより安全なまちなんじゃないかなと思います。

委員

町外の人に島本町を知ってほしいということで、音楽フェスティバルを実施して

いるが、町外にどのように発信していくかが、課題となっている。

委員

雑誌などで取り上げられている町特集みたいところで取り上げてもらうとか、朝の番組でお手伝いの問い合わせをすると、その番組が何か盛り上げましようとなって人を出してくれたりいろんな飾りつけしてもらったり、っていうのを時々耳にするのでそういうのもいいのではないのでしょうか。

委員

書く側の書き方のセンスもいるし、出す側の出し方のセンスもあるだろうし、一つだけじゃなくて複合的に何かが合わさらないと、なかなか大きな情報として発信しにくい。そのキーワードが今で言うと「子育て」であったりとか、「観光」であったりとか、「防犯」であったりとか、「安心・安全」とかなんですけども、それにうまく乗らないといけない。

【案件2】その他

会長

事務局から説明があるようですので、お願いします。

事務局

資料2で、国の次期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定スケジュールの概要を示しております。6月に基本方針が策定されており、今年の12月に国の次期総合戦略が策定される予定となっております。各地方公共団体は国の次期総合戦略に基づき、次期地方版総合戦略を策定することが求められているところです。

本町の現行の総合戦略につきましても、計画期間は今年度で満了するという事になっており、次期総合戦略の策定に向けて情報収集等を進めているところでございます。今後におきましても、国や大阪府の状況、本町の現行の総合戦略の進捗状況を踏まえて、次期総合戦略の策定事務を進めてまいります。

委員

第1期のときは国の予算・補助金があつて、各自治体に作らせていたと思いますが、2期に向けて、同じように国がある程度予算を持っているのか、環境とか考え方が変わっているのであればお願いします。

事務局

以前は策定費用も含めて国が出したりしていることもありましたが、2期目はないとのことでした。

地方創生のため、いろんな事業があつて、交付金を活用して事業展開をするという枠組みは変わらず、今後も維持される予定となっております。

会長

全体をまとめた上で、次に向けて、私のほうから一言だけ言わせてもらえればと思います。

次に向けての課題ということになれば、重点項目はある程度絞られると思います。

子育て・待機児童に係る対応、公共施設の耐震化、超高齢化、防犯など様々な課題に対して、島本町独自のアイデアで次期総合戦略の策定の中で議論を進めていきたいと思っております。

町の大きな方針のもと、町長の決断と計画をもってやっていけば、大阪でも一番
住みよい町に近づいていくのではないかと思います。

それでは、本日の審議会を閉会いたします。

皆さんありがとうございました。